サフラン便り

第３５号　２０年１０月１５日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会
佐賀市本庄町大字本庄 1269-1
TEL:0952-23-8931
FAX:0952-23-8941
http://www8.ocn.ne.jp/~saffron/

日本女性薬剤師会「移動セミナーin 佐賀」報告

（お礼の言葉）

「第６回日本女性薬剤師会移動セミナーin 佐賀」の開催にあたり、ご多忙にもかかわらず、ご参加いただきました皆様、佐賀県、佐賀市、企業広告、企業協賛、展示企業の皆様、佐賀県内の各薬局様ご支援をいただき誠に有り難う御座いました。そして、佐賀県薬剤師会役員、在宅医療介護部会、青年薬剤師部会、薬局部会、各支部、事務局のご協力に改めて深く感謝いたします。

当日は天候にも恵まれ、県内外から 350 名超の参加者があり、お陰をもちまして大変意義深く、成功裡に終了できました。多くの方のご協力の下、この移動セミナーにふさわしい講師･演者の方々をお招きすることができ心よりお礼申し上げます。

本大会では、「保健・医療・福祉の架け橋になろう」をテーマに、最新の話題やいろんな現場での体験、日頃の研鑽の成果を聞くことができ、相互に交流を深め、情報交換することで本来の目的である女性薬剤師の資質向上と活性化に少しでも近づけたのではないかと思っております。

今後は、女性薬剤師がその成果を生かし、これからの部会活動に役立てていくつもりです。なお一層のお力添えを賜りますようお願い致します。

＜近藤由利子日本女性薬剤師会会長からのお手紙より抜粋＞

今般の移動セミナー（交流会、セミナー、観光）はすべて大成功でした。特に佐賀県薬剤師会のバックアップもあり、しかもそれも目立つことなく上手に女性薬剤師部会を立てながら協力して下さっていたことに有難く思っております。県薬の前会長、現会長のお人柄ですべて穏やかに事が進みさすがと思って帰京しました。加えて北島先生の人脈、明るさ、あれだけのポジションにあった人の謙虚さ、良く部会長を支えていました。

何と言っても「移動セミナー」が大きく前進したことを何よりも嬉しく思っております。
パネルディスカッションで示されたように、専門性を持った薬剤師がさらに広い分野に進出し、基本は薬そして他の分野の事にも精通する知識の習得がなければ連携は成功しないでしょう。
大きなセミナーを開催するには１年以上かけて準備が要ります。
その結果その組織を構成するメンバーが成長することはもとより組織が他県から見ても押しも押されもしない大きな組織になるのです。役員各位にくれぐれもよろしくお伝えください。
最後になりましたが佐賀県薬剤師会の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈りします。

＜各県からのお礼文より＞

＊至れり尽くせりのご準備にさぞかし大変なことでしたでしょう。
皆様の心のこもった対応に有難いやら恐縮するやら本当に感服いたしました。
充実した研修会でした。（東京都、朝永孝子先生）

＊栃木から一人での参加で心細かったですが、皆様の心温まる接待にとても楽しい時を過ごすことができました。お礼申し上げます。（栃木　山田全子先生）

移動セミナーを終えて

＊　１５日午後４時過ぎ、観光バスが終点の佐賀バスセンターに到着。
ここで降りる他県の方々を見送り、「無事終了」のメールを高祖会長に打った。昨年のバルーン大会の会場に、宮地和子さんと、観光パンフレットの恵与をお願いに当時の佐賀市の観光課長さん、観光協会の担当者の方に会いに行きました。その折、「佐賀市大会等開催支援補助金」があることを教えてもらい、申請。交付が決定すれば「移動セミナーｉｎ佐賀」の収入の一部にこの補助金は入ります。（北島悦子）

＊　交流会が始まる直前、急きょ近藤由利子日本女性薬剤師会会長を佐賀空港まで迎えに行くことになりました。
交流会の挨拶に間に合うか微妙なところで心配していましたが、古川知事の巧みなご挨拶で、
会場も和やかな雰囲気でほっとしました。次に小田連盟会長がユーモアたっぷりに雄弁を振るわれていました。
藤井基之前参議院議員をはじめ快くご臨席いただいたことに対して感謝の気持ちと、
薬剤師同士の強い意識のつながりを感じたひとときでした。（徳渕明代）

＊「初めての大きな仕事がこの移動セミナーで、準備から戸惑うことばかりでした。
当日は、佐賀県はもとより全国の先生方に参加していただき、いろいろと
お話することができました。お年を召した方でもとてもパワフルで、負けては
いられないと刺激を受けました。（鶴田恵子）

＊　スタッフとして役に立ちたいという思いとは裏腹に、流れを把握できないまま大会突入。
手伝ってくださる先生方に、「何でも私に聞いて、すぐに聞きに行くから。」と笑い話をしつつ
も協力していただき、周りの皆様すべてに感謝、を実感できた経験でした。（杉岡祐子）

＊　キッズルームと救護班を担当しましたが、体調をくずされた方もいらっしゃらなく、
大きなトラブルも無く無事終えてホッとしました。キッズルームは、
三つ子ちゃんも含め５人のお子様で元気いっぱい、にぎやかでした。（池田知子）

＊　移動セミナーが、無事に終わり嬉しく思います。親睦会の時のメニューに添えられた「バラフ」を、
お土産にしたいという有難いご希望にお答したく、翌日のセミナー中に、情報を頼りに、10 件程のフード
センターを廻り、「バラフ」を探したのですが、出される物は「ばら麩」、最後の手がかりの「道の駅」で、収穫が終わった事を知り、がっくりした私でした。結局何の、お役にも立てず落ち込んでいましたら、翌日、福島県の初澤先生から、親睦会、セミナーのご好評のお電話を頂き救われた様な気持ちになりました。（江口しずか）

＊　「弁当担当」をし、何のトラブルもなく、移動セミナーも大成功で、県薬・スタッフ・事務局の皆さんに大変感謝しています。とても心地のいい達成感があります。家族を巻き込む一大イベントでしたが、すべてプラスになったと自己満足しています。（宇野由紀子）

＊　県薬の女性薬部会として開催させてもらって本当に良かったです。高祖会長をはじめ、薬剤師会の多くの方々の助言をもとに私たち女性薬の委員はいろんな事を学び経験する事ができ成長できたと思います。
本当にありがとうございました。(田中須磨代)

＊　「観光担当」となり、初めて足を運ぶ観光協会、ＪＴＢ等でいろいろと勉強になることがありました。
そしてなにより、北島先生からの物事の進め方仕事の運び方を学ばせてもらいました。この移動セミナーがなければ、学べなかったことかもしれません。そして、観光終了。到着した佐賀駅で宮地先生から「これから福岡空港まで往復よ」、と言われて車に飛び乗りＴ先生の荷物を届けたことにより、最後の最後まで何があるか分からないという経験もさせてもらいました。Ｔ先生いいエピソードをありがとう。（島田智子）

＊　今回の「第６回日本女性薬剤師会移動セミナーin 佐賀」にスタッフとして
参加できた事は 私にとって大変有意義でした。 一つの事に向かっていくパワーと、
周りへの気配りを忘れない細やかさを 私も日頃の仕事の参考にしたいと思います。
皆さま本当にお疲れ様でした。（古荘祐子）

＊　先生方、お疲れ様でした。適材適所で順調に進んだと思います。
また、交流会での来賓の方々の挨拶でもふれられたようにとっても和やかなセミナーでした。
他県の先生方とも楽しくお話ができ、佐賀をアピールできる話もたくさんできました。
ありがとうございました。（福島あさ子）

＊　開催要請を受けてから２年、その時々で行き詰ることもありましたが、不思議なように助け舟が現れました。
それが方法論であったり、精神論であったり暖かな温もりのある優しい協力者たちの存在でした。
感謝の一語に尽きます。家族の理解と協力なしには女性は仕事でもないボランティアでもない薬剤師会の行事に参加することは不可能です。スタッフの方々の家族の皆様にも改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。
（宮地和子）